



防災士
防火・防災管理者
稲垣 康弘

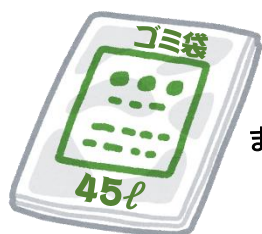
台風や集中豪雨の時に「お家でできる浸水対策」

近年、台風や線状降水帯の発生により、河川の氾濫や排水溝・マンホールから水が噴き出し、家の中に水や土砂が侵入し、床上浸水を起こす被害が多発しています。

そんな時、水や土砂の侵入を防ぐための「水のう」を作るのは大変ですが、「水のう」はお家で簡単に作ることが出来ます！

今回のAdvance防災通信は、「水のうの作り方と使い方」についてお知らせします。

【準備するもの】



45L程度のゴミ袋

または

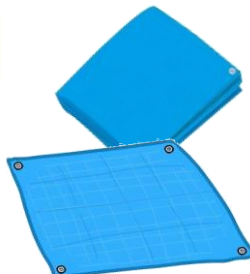


大きめのレジ袋

あれば



段ボール



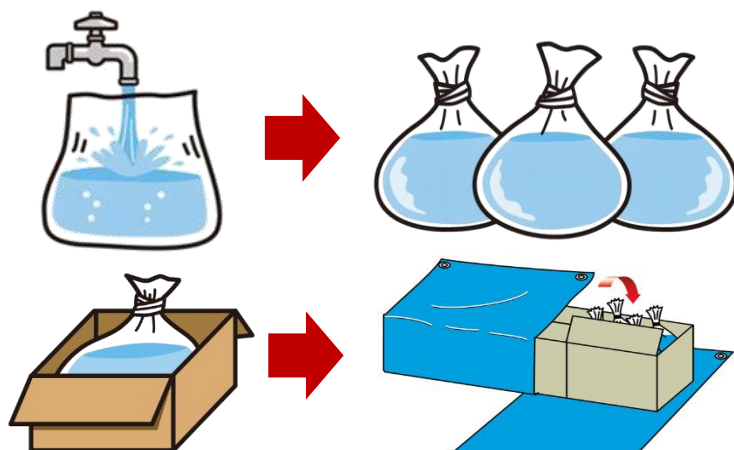
ブルーシート



板

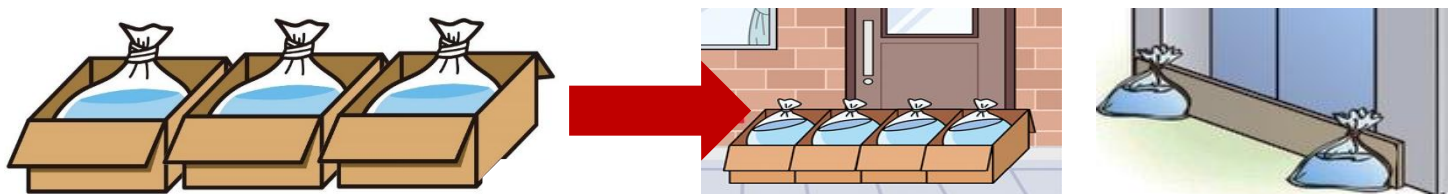
【水のうの作り方】

- ① ゴミ袋を二重にします。
- ② 持ち運べる程度に水を入れる。
- ③ 空気を抜いて口をきつく縛る。
- ④ 段ボールに入れると強度が増します。
- ⑤ ブルーシートを巻くと更に強度が増します。



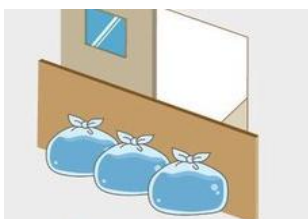
【水のうの使い方】

玄関や入口に段ボールに入れた水のうを置く、または板で入口を塞ぎ水のうを置く

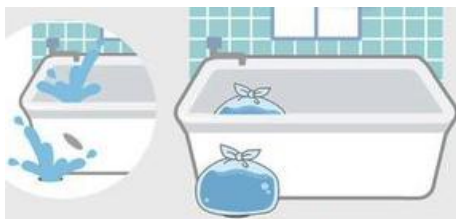


【水のうの置き場所】

玄関



お風呂の排水口



洗濯機の排水口



トイレ



簡易水のうを置くことで逆流を抑える効果があります。

排水口やトイレは下水が逆流し水が溢れ出すことがあります！ 水のうを乗せることで逆流を防ぐ効果があります。